

# 地域ごとのまちづくり計画 (まちづくり協議会コミュニティ末広)



令和2年(2020年) 3月

## 目 次

【はじめに】 .....	1
【現状と課題】 .....	2
【 <sup>まち</sup> 地域の将来像】 .....	4
【基本目標】 .....	4
【具体的な取り組み】 .....	5
【あしがき】 .....	9
【資料】 .....	10

## 【はじめに】

コミュニティ末広の発足から24年を経てまちづくり計画の抜本的見直しへ

### ■コミュニティ末広の発足

まちづくり協議会コミュニティ末広の発足は、平成6年（1994年）3月です。

宝塚市全域でまちづくり協議会を小学校校区毎に設立するという宝塚市の方針に従って設立しました。

当初は、役員を中心にした本部が企画・実施していましたが、コミュニティ末広の活動を知っていただくため、平成10年度（1998年度）には広報部を立ち上げました。さらに、これまで伊和志津神社で行われていた盆踊りを中心とする「夏まつり」を行うまつり部と、お年寄りを対象とした諸行事を末広小学校の児童等とともに挙げる福祉健康部を平成12年度（2000年度）に立ち上げ、活動が広がっていきました。

### ■「コミュニティ末広 まちづくり計画 2005.10.01」策定

コミュニティ末広では、宝塚市の指導の下、初めての末広小学校区「まちづくり計画」を、関係構成団体（自治会、学校・幼稚園・保育所関係団体、老人クラブ、スポーツ21、PTA、行政関係者等）の協力を得て、約2年間の調査・検討・審議を経て、平成17年（2005年）10月に策定いたしました。

「コミュニティ末広 まちづくり計画 2005.10.01」では、わがまちの特徴を次の通りとらえて、計画目標を設定しています。

わたしたちのまち末広は、「コンパクトで便利・住みやすいまち」です。  
もう一つのまちの魅力が“みんなが仲良し”“このまちが好き”とすることです。  
このようなまちの特徴を踏まえて、コミュニティ末広のまちづくりスローガンは、  
「出会い・ふれあい・みんなで楽しいまちづくり」としました。

### ■コミュニティ末広 まちづくり計画の抜本的見直しへ

平成29年（2017年）に、「コミュニティ末広 まちづくり計画 2005.10.01」を作成してから12年が経過しました。その間、社会経済環境は大きく変化し、少子高齢化、人口減少、過疎化、生活困窮者対応等の社会課題が顕著に表れています。

このため、宝塚市は、平成29年度（2017年度）から平成31（令和元）年度（2019年度）にかけ、「地域ごとのまちづくり計画の抜本的見直し」を行うことを決定されました。また、見直した計画は、令和3年度（2021年）を初年度とする宝塚市第6次総合計画の一編として位置づけられます。

われわれコミュニティ末広としては、平成29年（2017年）11月に「まちづくり計画委員会」を発足させ、自治会を中核とするコミュニティ関係構成団体、民間事業者、行政関係機関等のご協力をいただき「まちづくり計画の抜本的見直し」を行って参りました。その内容を次章から記載します。

## 【現状と課題】

現状と課題については、地域カルテでまとまっている人口や世帯数等について把握した上で、自治会、各種団体に協力いただき、地域の良い所と困っている所、こうなったら良いと思うことなどをアンケートで伺いました。その結果を「まちづくり計画委員会」の中で共有した上で、30代～40代の方々を中心としたワークショップを実施し、「まちのこれから」について意見交換を行いました。また、逆瀬川駅周辺を含め様々な事業所が立地することから、事業所宛にもアンケートを実施し、連携の可能性について調査しました。

### ① 人口

コミュニティ末広の人口は、平成26年（2014年）は6,336名、平成31（令和元）年（2019年）には6,379名とほぼ横ばい、世帯数については、2,809世帯から2,917世帯と100世帯以上増加しています。一方で高齢者の推移を見ると65歳以上の人口は1,529名から1,710名と181人増加、一人暮らしの世帯も453世帯から534世帯と81世帯増加となっており、世帯数の増加はあるものの、一人暮らしの高齢者世帯の割合が高くなりつつあるのが現状です。また、子どもも多少の増減はありますが、ほぼ横ばい（末広小は各学年2～3クラス）。高齢者は増加傾向にありますが、市内の平均とほぼ同等です。年少人口は市の平均より若干多い程度です。（出典：地域カルテ2019年10月版）

### ② 周辺環境

コミュニティ末広は、南部市街地のほぼ中央、武庫川及び逆瀬川の右岸に位置し、地域内には阪急今津線逆瀬川駅および駅前の商業施設、公園、市役所などの公共施設もそろっていて、子育てしやすい環境です。地域内は平坦な部分が多いのですが、武庫川及び逆瀬川沿いは堤となっているため、急勾配で土地が高くなっています。

### ③ 防災

武庫川沿いに位置するほか、地域内を水路が走っているために、水害時の対応が求められています。地域の指定避難所である末広小学校は、水害時は避難所として指定されていません。そのため、地域内のマンション4箇所と一時避難に関する協定を結び対応策を取っていますが、今後も協定先の追加と継続が必要です。防災については、総合防災対策事業委員会で検討して、総合防災訓練を年1回開催していますが、参加者が固定化している状況もあるため、若い世代への啓発が課題となっています。また、地区防災計画の作成に向けての協議もすすめています。

### ④ 防犯

地域には、末広公園など広い公園や河川敷、幹線道路や住宅街の路地などについて街灯が少なく不安があるという声が多くあります。PTA、各自治会で地域の見回りパトロールなどを行なっているものの、各団体同士の不審者情報の共有などが課題となっています。また、廃品回収の資源を契約業者以外が回収しているなどの情報も寄せられています。地域内の防犯カメラは宝塚市が10台、自治会で6台の計16台を設置しています。

## ⑤ 交通安全

通学路となっている道路での歩道幅が狭い、地域内を流れる水路でも危険な箇所があるなど、具体的に課題とされている箇所が数カ所存在しています。また、自転車マナーや、信号無視、高齢者の自動車運転などについても対策が必要です。ほかにも、市役所前通りや市役所前交差点付近で土日など交通渋滞が発生し、横道からの進入がしづらい状況もあります。

## ⑥ 福祉

サロン活動をはじめ、高齢者が集う機会を設けてはいますが、徐々に高齢化が進む中で、地域内のちょっとした困りごとを解決できるような仕組みが求められています。また、地域内に高齢者や障がい者等の支援施設など、福祉関連施設との情報交換や連携が求められています。

## ⑦ 子育て

未就学児の子育てをしている世代の集う場は継続的に維持されています。一方で児童館のような、小中学生たちが室内で自由に遊べ、自習ができるような施設が不足しているという声もあります。

## ⑧ 環境美化

地域内の公園の清掃活動などは、自治会が中心で実施していますが、参加者が少ない状況が続いています。また、地域内の街路樹や植栽について、草花の配置が明確でなかったり、枝葉が伸びすぎると見通しが悪くなる箇所があったりします。駅周辺では、アピア1やイトーピア参鐘館ビル前の自転車放置が課題となっています。

## ⑨ コミュニティの活動・担い手

まつりやイベントごとについては地域での認知があるものの、防災などの活動についての認知が低い状況となっており、情報発信と情報共有が課題となっています。また、高齢化とともに活動の担い手不足も課題となっています。

## ⑩ 活動の場

これまで高齢者や子育て世代が気軽に集まることができた施設「よりあいひろば」が閉鎖となったため、気軽に集まることが求められる場が求められています。防災の視点からも地域内の共同利用施設「伊子志会館」の改修や逆瀬川駅周辺で気軽に集える場が求められています。

## ⑪ 賑わい交流

「コミュニティ末広夏まつり」「ふれあいビアガーデン」など世代間交流の催しを定期的に行っています。こうした催しが継続されていることもあり、地域の事業所アンケート結果では、回答された事業者の67.2%が地域と連携したい・すべきだと考えています。若い世代や地域との連携に積極的な事業者との気軽な関わりを持つことができる体制が必要です。

## 【<sup>ま</sup>ちの<sup>ち</sup>将来像】

末広小学校区は、逆瀬川駅から宝塚市役所に至る小さいエリアの中に静かで落ち着いた住宅地が広がっており、市役所・公民館など市の中心機能が集積しているほか、生活に便利な施設が立地する「コンパクトで便利・住みやすいまち」です。

まちのシンボル・地域の憩いの場として末広中央公園があり、自治会や各団体等が連携して風通しよく無理なく活動し、子育て世代からお年寄りまで多世代が楽しく暮らしやすい環境です。

今後も地域に暮らす人だけでなく、地域の事業所や学校等とのつながりから、互いに支え合い、協働して取り組みを進めていくことで、安心して、こころ豊かに暮らせるまちを目指します。

「つながり・支えあう、みんなで楽しく暮らせるまちづくり」

## 【基本目標】

### (1) 安心・安全なまちづくり

1. 日頃からのつながり・備えの充実
2. ひとりひとりの見守りで支える安全なまち
3. 安全な生活環境の整備

### (2) 出会い・ふれあう・集いの場づくり

1. 思いやり、支えあいのネットワークづくり
2. 各世代が集える憩いの場づくり

### (3) 賑わい・交流のまちづくり

1. 地域でスクラム 元気がでる賑わいづくり
2. 誰もが参加しやすい環境づくり

### (4) 快適な環境づくり

1. 思いやりの心でつくる快適な公園
2. 美しいまちづくり



コミュニティ末広ロゴマーク

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
(1) 安心・安全なまちづくり	1. 日頃からのつながり・備えの充実													
	1	総合防災対策事業委員会の開催	○		→							○		総合防災部
	2	地区防災計画の作成	○		→						○			総合防災部
	3	総合防災訓練の実施	○		→						○			総合防災部
	4	避難所運営マニュアルの作成	○		→						○			総合防災部
	5	水害時の一時避難協定を締結するマンションの追加	○		→					○				総合防災部
	6	災害時における事業所との連携検討		○	→						○			総合防災部
	7	若い世代への防災の啓発		○	→						○			総合防災部
	2. ひとりひとりの見守りで支える安全なまち													
	1	個々の団体による見守り活動の継続と、自治会・事業者・PTA等での連携		○	→						○			第一部会
	3	あいさつ運動の展開		○	→						○			第一部会
	4	アトム110番の啓発	○		→							○		第一部会
	5	わんわんパトロール、お散歩パトロールの検討		○	→						○			第一部会
	6	廃品回収持ち帰りの対策		○	→							○		第一部会
	3. 安全な生活環境の整備													
1	地域内の危険箇所について確認、コミュニティと市で改善策を協議	○		→							○		第一部会	

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考			
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政				
					21年	22年	23年	24年						25年		
(1) 安心・安全なまちづくり	2		○										第一部会			
	3		○										第一部会			
(2) 出会い・ふれあう・集いの場づくり	1. 思いやり、支えあいのネットワークづくり															
	1		○											第一部会、福祉健康部		
	2		○											第一部会、福祉健康部		
	3		○											第一部会、福祉健康部		
	4		○											第一部会、福祉健康部		
	2. 各世代が集える憩いの場づくり															
	1		○								○				福祉健康部	
	2		○									○			福祉健康部	
	3		○										○		福祉健康部	
	4		○											○	福祉健康部	
	5		○												子育て支援部	
	6			○											子育て支援部	
	7		○												○	本部
	8			○												○



基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考		
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政	
					21年	22年	23年	24年	25年						
(3) 賑わい・交流のまちづくり	1. 地域でスクラム 元気がでる賑わいづくり														
	1	コミュニティ末広夏まつりの実施	○		→					○				まつり部	
	2	ふれあいピアガーデンの実施	○		→					○				第二部会	
	3	世代間交流イベントの開催を検討	○		→					○				第二部会	
	4	若い世代を中心とした企画の検討 (地域運動会、星空映画館、花火大会など)		○	→					○				第二部会	
	2. 誰もが参加しやすい環境づくり														
	1	地域と事業所の定期的な情報交換		○	→					○				本部	
	2	子どもたちの教育環境の改善や地域との関わりについて検討		○	→							○		本部他	
	3	事業所の空きスペースや空き家を活用した地域の集いの場の検討		○	→						○		本部		
	4	伊子志会館の改修・新たな活用の検討		○	→						○		本部		
	5	コミュニティの掲示板の設置の検討		○	→						○		本部		
	6	高校生や大学生の地域活動への参加促進		○	→							○		本部	
	7	広報における事業所との連携（チラシ配布、掲示等）		○	→								○		広報部

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政		
					21年	22年	23年	24年						25年
(3) 賑わい・交流のまちづくり	8	コミュニティについて周知を広げる冊子の作成	○	→						○				広報部
	9	広報部のウェブサイトの充実	○	→						○				広報部
	10	高齢者向けスマートフォン活用講座の開催	○	→						○				広報部
	11	子育て世代向けの情報共有の仕組みづくり（SNS等の活用）	○	→						○				広報部
(4) 快適な環境づくり	1. 思いやりの心でつくる快適な公園													
	1	せせらぎ広場の定期清掃参加者の促進（小学生等の連携など）	○	→							○			第二部会（こども会）
	2	せせらぎ広場のプランターの管理	○	→							○			第二部会（こども会）
	2. 美しいまちづくり													
	1	街路樹や植栽の剪定に関する定期的な意見交換の実施	○	→								○		本部 2年に1回程度で実施
	2	駅前街路樹の野鳥のフン対策の検討	○	→								○		本部
	3	小中学校と連携して啓発ポスターの作成の検討	○	→							○			本部
	4	ゴミ捨てマナー向上への啓発活動の実施	○	→							○			本部

## 【あしがき】

「コミュニティ末広のまちづくり計画の見直し」には、多くの皆様のご協力をいただきました。見直しにあたっては、以下の取り組みを進めました。

### ■まちづくり計画見直し組織の立ち上げ

- ・ 計画の見直しの中心となる「まちづくり計画委員会」はコミュニティ末広の役員・各部会部長・各自治会長、宝塚市地域自治推進担当次長、宝塚市社会福祉協議会地区担当者をメンバーとして、平成30年（2018年）6月に発足させました。開催は概ね月1回のペースで行いました。

### ■現状の把握

- ・ 宝塚市から地域カルテの提供を受け、私たちの地域の特徴を把握しました。
- ・ 現計画「まちづくり計画 2005.10.01」の進捗度の評価は、コミュニティ末広第一部会が行いました。この作業で計画数は、短期計画が97件、中期計画が66件、計163件でしたが、その着手状況は実施中が93件、完了したものが44件でした。両者をあわせると計画着手率は84%であったことを明らかにしました。

### ■意見を聴く

- ・ コミュニティ末広地域の現況や続けてほしい事業、10年後にあったら良いことなどを把握するアンケートをコミュニティ末広役員・各部会、各自治会を中核とする関係団体の構成員の協力を得て行いました。アンケート配布数は210枚 回答数は83枚でした。
- ・ 地域で気になること、いいなと思うこと、地域と連携できることなどの質問をアンケートで地域内事業者の協力を得て実施しました。アンケート依頼先業者は68社 回答業者は58社でした。
- ・ 30～40才代を中心とする若手意見交換会を令和元年（2019年）6月16日にワークショップ形式で開催しました。参加応募者は、コミュニティ末広役員・部長、自治会役員、末広小学校PTA、おやじの会、すえひろば実行委員会に属する25名の方々でした。意見交換は5グループに分かれ、上記アンケートで指摘された課題や新たに創設すべき施策、新設・改良すべき道路・公園などについて行いました。

### ■行政との調整と計画案のとりまとめ

- ・ 宝塚市の各担当部署との情報交換を行いました。アンケートで指摘された宝塚市、兵庫県が管理する道路、公園、下水水路など諸構造物の新設、改良、維持等の要望について、当方から意見を述べるとともに各担当部署から現下の見解を聴取しました。
- ・ いただいたご意見を元に、「まちづくり計画委員会」において、計画案を作成、市との調整部分などを整理し、計画をまとめました。

ここに紹介しました作業で「まちづくり計画の見直し」が完成いたしましたのもひとえに皆様方のご支援とご努力の賜物と深く感謝いたします。

今後はコミュニティ末広の関係者一同、地域の将来像とした「つながり・支え合う・みんなで楽しく暮らせるまちづくり」を「具体的な取り組み」に従って達成するよう努力する所存でございます。

最後になりましたが皆様のご協力を重ねて御礼申しあげるとともに変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

【資料】

○まちづくり計画検討の経緯

年	月	内容	年	月	内容	年	月	内容
2017	11月	11/16 役員、部長、自治会長向け説明会	2018	9月	9/8 計画委員会（地域アンケート検討） 地域アンケート ×切 9/30 ↓	2019	7月	7/13 計画委員会（ワークショップ結果の共有 事業所アンケートの結果共有） 7/27 計画委員会（計画素案の検討） 事業所アンケート ↓
	12月			10月	10/16 計画委員会（アンケート結果の共有）		8月	
2018	1月			11月	11/10 計画委員会（進め方についての検討）	9月	9/14 計画委員会（計画内容の調整・検討）	
	2月		12月	12/8 計画委員会（防災についての意見交換）	10月	台風にて中止		
	3月	3/17 役員会（まちづくり計画の見直しについて）	2019	1月		11月	11/9 計画委員会（担当課との意見交換）	
	4月			2月	2/9 計画委員会（交通安全・防犯について意見交換）	12月	12/14 計画委員会（意見徴収方法の検討）	
	5月	5/28 第一部会（現行計画の進捗状況の確認）		3月	3/9 計画委員会（検討内容の整理）	2020	1月	パブリックコメント ×切 1/25 ↓
	6月	6/8 計画委員会（現行計画の進捗状況の確認）		4月			2月	2/8 計画委員会（パブコメ結果の共有・計画の確認）
	7月	7/14 計画委員会（地域カルテの説明、 意見聴取の方法検討）		5月	5/11 計画委員会（若手意見交換会、 事業所アンケートの検討）		3月	3/7 計画委員会（計画の確定）
	8月		6月	6/9 計画委員会（アンケート先の検討） 事業所アンケート 6/16 まちのこれからを考えるワークショップ実施 ↓				